

第38回 鹿児島市都市計画審議会議事概要

1 出席委員（16名）

宮廻委員、木方委員、米永委員、上入來委員、岩元委員、藤田委員、三嶽委員、西委員、高木委員、土井委員（代理）、上赤委員、内匠委員（代理）、中村委員、有山委員、吉元委員、宮竹委員

2 議案

議案第1号 鹿児島都市計画道路の変更について

（都市計画道路1・4・1号 鹿児島東西線）

3 審議結果

提案どおり異議なしの答申を受けました。

4 議事概要（○委員 ●担当課）

- 換気所の位置を変更するというのですが、音の問題など環境への影響は問題ないのでしょうか。また、CO₂や低音騒音はどうでしょうか。
- 今回、換気所の位置が40m移動されますが、周辺の状況は変化がないところであります。当初の計画段階から環境アセスに準じた調査を行い、騒音や換気の影響はないと聞いております。また、排気口で騒音軽減措置を行うとともに、舗装による軽減措置や遮音壁等の設置により軽減を図るとも聞いています。

- 新武岡トンネル周辺の地質調査をした結果、地盤が弱いところが見つかったということですが、1ヶ所だけではなく、ほかにもあるのではないのでしょうか。
- 鹿児島の地質はシラスが多いですが、このシラスは非常に固い地質であります。今回発見された地盤が弱い箇所は、通常のシラスより弱い地質であったということであり、現在の武岡トンネルから離して掘削するというものです。それ以外の箇所では地質の弱い場所は確認されていないとのことあります。

- この辺りは合流地点が多く、渋滞もだが運転に神経を使うところである。どのような配慮をしていくのか。
- ご指摘のとおり、トンネル内の合流、インターでの合流、分流の線が多くあることから、路面にカラー舗装を行ったり、標識等を早目から標示し、ドライバーに早く情報を提供していくことを国の方で計画しております。その他、音声案内やラジオによる情報提供等を警察の方と協議しているとのことあります。

- 住民説明会での意見はどのようなものがあったのか。
- 8月25日から28日にかけて4ヶ所で説明会を行いました。今回の変更案についてのご意見はなかったところありますが、天保山インターチェンジ付近については、地区を分断しないためにも高架化ではなくトンネル構造にしてほしいとのご意見があったところあります。また、都市計画決定区域が広いため、道路ができるまでの長い期間、建築制限を受けることから都市計画を廃止してほしいというご意見もありました。